

近代アジアの音楽指導者エッケルト  
プロイセンの山奥から東京・ソウルへ

Franz Eckert, Musikmeister des modernen Asien  
Aus der preußischen Provinz nach Tokyo und Seoul



東京合唱協会の雑誌「Allerhand Lustiges」より。

日本の音楽文化の近代化において、お雇い外国人の役割は大きかった。フランツ・エッケルト (1852~1916) は、1879年から1899年まで、他の音楽教師に比べて早い時期から長期に渡って、多種の機関と音楽ジャンルに及ぶ、極めて幅広い活躍をした。

1901年には再び東アジアに渡り、没年の1916年までさらに5年間韓国で活躍し、日韓両国の洋楽史に多大な貢献をしたが、これは他のどの外国人音楽教師にも見られない特徴である。日本も韓国も今日では世界の西洋音楽界の最先端にあると考えれば、没後100周年記念をきっかけに両国に残した実績とその文化的背景を顧みるのは、十分意義があることだろう。

エッケルトが活躍した領域は管楽隊、弦楽隊、管弦楽隊、合唱団などの指導と指揮、作曲、編曲、伝統音楽の採譜、和声学教授などである。関与した機関としては海軍軍楽隊、東京合唱協会、文部省音楽取調掛、宮内省式部職雅楽部、陸軍戸山学校、近衛軍楽隊、(大韓帝国) 侍衛軍楽隊などがある。

業績としては日本の国歌《君が代》(現行)の編曲、葬送行進曲《哀之極Ⅰ・Ⅱ》の作曲、韓国の最初の公式な国歌《大韓帝国愛国歌》の作曲などが有名である。

しかし、今日までエッケルトについては一般的な認識が薄く、研究も少ない。これはなぜだろうか。それは彼が主に演奏と指導において活躍したため、上記の作品を除けば文書として残っている資料が少ないからである。そもそもエッケルトは「知識人」のイメージから程遠い人物で、文章を書くのが苦手だったと思われる。しかし音楽界の発展には、演奏と指導が極めて重要な役割を果たしているため、資料の少なさから彼の役割が重要ではなかったとはいえない。この展覧会では、特に彼の来日以前の経歴が来日後の活躍にどのような影響を与えたかという視点から、近代アジアの洋楽史のみならず、その淵源【またはルーツ】であるプロイセンの「山奥」の音楽文化にも新しい光を当てる。そのために初めて公開される資料も少なくない。

Unter den westlichen Musiklehrern, die seit der Meiji-Zeit in Japan wirkten, zeichnet sich der Militärkapellmeister Franz Eckert (1852–1916) nicht nur durch die Dauer und die Vielseitigkeit seiner Tätigkeit, sondern auch dadurch aus, dass er sowohl in Japan als auch in Korea Grundlegendes geleistet hat. Seine Wirkung erstreckte sich auf Bläser-, Streicher- und Chormusik, und neben der Konzert- und Lehrtätigkeit ist er als Komponist und Bearbeiter hervorgetreten. In dieser Ausstellung wird seine Tätigkeit vor dem Hintergrund seiner Herkunft aus dem schlesischen Kleinstadtmilieu beleuchtet, wobei viele historische Dokumente zum ersten Mal öffentlich gezeigt werden.

【関連企画】

国際シンポジウムと演奏会

Internationales Symposium und Konzert

2016年5月28日(土) 会場: 駒場キャンパス 18号館ホール

Samstag, den 28.5.2016 in der Konferenzhalle (Erdgeschoss) des Gebäudes 18 auf dem Komaba-Campus der Universität Tokyo

シンポジウムの詳細は <http://fusehime.c.u-tokyo.ac.jp/gottschewski/eckert/> を参照  
Nähere Informationen zum Symposium werden auf der Homepage <http://fusehime.c.u-tokyo.ac.jp/gottschewski/eckert/de/index.html> bekanntgegeben.

吹奏楽演奏会「フランツ・エッケルトの作品とその周辺」神奈川大学吹奏楽部  
Konzert des Blasorchesters der Kanagawa-Universität „Werke von Franz Eckert und seiner Umgebung“

演奏会開始時間 17時30分 Konzertbeginn: 17:30 Uhr

記念演奏会

2016年6月23日(木) 午後7時開演

Gedenkkonzert am Donnerstag, den 23.6.2016 um 19 Uhr

会場: 駒場コミュニケーションプラザ北館2階 音楽実習室

Ort: Komaba Communication Plaza, North Bld. 2F, Music Practice Room

演奏者: 渡辺克也(オーボエ) 松山元(ピアノ)

Watanabe Katsuya (Oboe) und Gen Matsuyama (Klavier)



お問い合わせ先 東京大学 駒場博物館

住所: 153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

Tel: 03-5454-6139 Fax: 03-5454-4929

ホームページ: <http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/>